

歴史・風土に根ざした個性豊かな活力のあるまちを目指して

私たちのふるさと桑折町は、豊かな自然に恵まれ、古くから奥州・羽州街道の宿場町として、また、半田銀山や養蚕業、果樹栽培など、地域の特性が活かされた農業を中心として発展をとげてきました。

一方、21世紀を迎え、少子高齢化社会の到来、地方財政の切迫、市町村の広域合併など、時代の大きな変革期に直面しています。

こうした中、本町では、21世紀のまちづくりを展望し、時代の潮流を見据えた新たなニーズに応えることができる個性豊かで魅力にあふれたまちづくりを進めるため、新たな総合計画「新生こおり 21プラン」を策定しました。

このプランを基に、概ね20年後の本町の都市計画の基本的な方針として策定したのが、この都市計画マスタープランです。

都市計画マスタープランの策定にあたっては、公募による町民、学識者などから構成された策定委員会でご検討頂くとともに、町民の皆様との積極的な意見交換を行うための地域別懇談会の開催や広報による意見募集など、多様な町民参加の機会を設け、多くの貴重な意見を頂きながら計画づくりを進めてきました。

今後も、「町民の方との協働によるまちづくり・地域づくり」に向けて、将来像の実現のために努力していく所存です。

皆様方の一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

最後に、この計画の策定にあたって、熱心にご検討を頂いた策定委員会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せ頂いた多くの町民の皆様から心から感謝申し上げます。

平成19年8月

桑折町長

